

## 緑豊かな情景を歌詞に込めて～南幌町歌～

皆さん夕方5時に流れる音楽の曲を知っていますか？家に帰る合図、仕事の終わる合図、人によっていろいろな区切りになっていると思いますが、その曲のことを知っている方は多くはないかと思っています。

現在流れているのは「南幌町歌」つまり町の歌になります。この歌を式典などで精力的に披露しているのが「町歌をうたう合唱の会」です。現在22名で活動しており周年行事やイベントなどで町歌を披露するため、日々活動しています。

今回、町歌をうたう合唱の会の沢田会長と、指導者として指揮もされている南幌小学校の西田教頭先生にお話を伺いました。



### これからも町歌を伝えていきたい



沢田会長

うたう会は平成4年に設立してから22年間続いています。当時の町長をはじめ教育長、各学校の先生方などのお力添えもあって町歌が誕生し、うたう会を結成することができました。月に1回練習を行いながら、めぐみ学園や成人式で歌わせていただいて、新成人の方から「とてもいい歌でした」などと言われ嬉しく思いました。もっといろいろな方にも知ってほしいと思いますし、私たちと一緒に活動してくれる方々にも参加していただき、これからも町歌を伝えていきたいと思っています。

### 歌詞とメロディーからイメージしてください

昨年からお誘いを受け、指導兼指揮者としてうたう会で活動しています。南幌に来た時に夕方5時の放送で初めて聞き、聞いたことのない曲だなと興味をもちました。南幌町歌はメロディーがゆるやかで、歌詞と曲から南幌町の緑の豊さ、広がる平地、人の温かさが伝わってきます。このイメージを歌い手に伝え、良さを引き出すのが指揮者の役割であり、それを第一に考えて指揮棒を振っています。何事も続けることが大事だと思うので、このすばらしい町歌がこれからも歌い継がれていくことを願って、南幌にいる限り活動していきたいと思っています。



西田教頭

## 福島の子どもたちを南幌に呼ぼうコンサート&報告会を開催しました。

4月27日、昨年8月に行われた「福島のごども南幌キャンプ2013」の報告会を兼ねた演奏会があいくるで行われました。当日は、なおこBANDによるオリジナル曲をはじめ「ふるさと」や「南幌町歌」などが演奏され、集まった方々を楽しませました。

演奏会の途中では、今年のキャンプの様子が語られました。思う存分遊びまわる子どもたちの姿と、今も困難の中にある福島の様子がスライドで写し出され、子どもたちが何も気にせず外で遊べる環境がどれだけ貴重で大事なことを話されました。

